

茅野市 縄文プロジェクト

実行市民会議が初会合

「世界文化遺産」加え6部会構成

改定版の視点具現化へ

茅野市は10日、縄文を生かしたまちづくりの実現に向け、「縄文プロジェクト改定版」に示した取り組みを具体的に検討する「縄文プロジェクト実行市民会議」の初会合を市役所で開いた。さまざまな立場の38人が委員となり、6部会に分かれ、来年度から東京五輪がある2020年度にかけてを目安に行う取り組みの計画策定などを進める。

(手塚洋一)

会議は、同改定版をまとめ

て昨年10月に解散した「縄文

プロジェクト推進市民会議」

のメンバー13人に、メンバー

から推薦された24人と座長の

柳平千代一市長を加えて構

成。部会は、同改定版に掲げ

る五つの視点に基づき「識る」

「広める」産み出す「楽しむ

守る」と、市内の遺跡な

どの世界遺産登録に向けて研

究する「世界文化遺産」を設

置した。

検討する取り組みは、「識

る」では堅穴住居での体験宿

泊、「広める」では縄文専用

ホームページ開設、「産み出

す」では縄文に学んだ商品開

発、「楽しむ」では縄文総合芸

術祭の開催、「守る」では縄

文の里史跡整備と活用事業の

推進など。今後は部会ごとに

中期計画や年次計画を作り、

ホームページのアクセス件数

や開発商品の数といった数値

目標も設定していく。

初会合では、顔合わせを兼

ねて各部会で意見を交わし、

正副部会長を決めた。柳平市

長は「縄文プロジェクトは、

いろいろな人が自らできるこ

とに取り組んでもらう性質の

もの。大きなうねりをつくり

出す原動力になってほしい」と

呼び掛けた。

正副部会長は次の皆さん。



縄文プロジェクト実行市民会議の初会合で部会ごとに意見を交わす委員たち

◎部会長、○副部会長

▽識る◎小口晋平○小林喜久一▽広める◎樋口敏之○章

木美咲▽産み出す◎宮坂貞博

○朝倉寿美子▽楽しむ◎岩崎

和子○鶴石悠紀▽守る◎鵜飼

幸雄○牛山晴幸▽世界文化遺産

◎小口晋平○宮坂貞博、篠原正司、鵜飼幸雄